

# 県酪だより

K E N R A K U D A Y O R I

2023

3

vol.303

福島県酪女性部 やまびこ会

— 令和4年度ひまわりコンクール —  
**優秀作品決定!!**



## TOPICS

- ・日本酪農政治連盟 福島県支部連合会  
第60回定期総会を開催 …… ④

# ひまわりコンクール優秀作品集



2月号で案内しました令和4年度の入賞作品のご紹介となります。  
 また、会員の皆様よりご応募頂きました作品を、今年度も本所二階玄関・各事務所に月替わりで展示して皆さんをお迎えしたいと思いますので、お立ち寄りの際はぜひご覧下さい。



畜舎環境の部 最優秀賞  
 福田祐子さん(県中)



畜舎環境の部 ひまわり賞  
 佐藤恵美さん(県中)



一般花壇の部 最優秀賞  
佐藤 恵美さん (県中)



一般花壇の部 ひまわり賞  
味戸 巴子さん (県中)



酪農生活の部 最優秀賞  
題名「親子で搾乳体験」  
福田 祐子さん (県中)



日本酪農政治連盟福島県支部連合会

## 第60回定期総会を開催



去る令和5年2月16日、県酪農協本館会議室において、日本酪農政治連盟福島県支部連合会第60回定期総会が開催されました。今年度は新型コロナウイルス感染者数の減少傾向を考慮し、多くの来賓の皆様にご臨席を賜り、3年ぶりに通常通りの内容で開催となりました。

まず、木目澤会長より挨拶があり、「昨年2月から始まったウクライナ戦争により、世界経済は大きな影響を受け、我々酪農家もいまだかつて経験したことのない厳しい状況に追い込まれた。とりわけ、円安傾向に伴う飼料高により、生乳生産を頑張れば頑張るほど赤字が積み増すという状況となってしまった。そのような中で、酪政連としては多くの酪友と手を携えながら積極的に活動した。満足が行く状況

には至っていないが、国や県からご支援をいただき、何とか年を越すことができた。新年度も東北ブロックや本部と連携し、少しでも経営が良くなるよう努力していきたい」との挨拶がありました。

来賓の皆様を代表し、福島県議会議員 渡辺義信様（代理：副議長 佐藤政隆様）より「震災から12年が経過し復興が進む一方、コロナによる需給状況の緩和、そして昨今の国際情勢により飼料が高騰するなど酪農を取り巻く状況は厳しさを増しているが県としても引き続き支援していきたい」とのご祝辞をいただきました。続いて、日本酪農政治連盟委員長 佐藤哲様（代理：事務局長 石本文樹様）、福島県酪農業協同組合 紺野宏組合長よりご祝辞をいただきました。

総会におきましては、①令和4年度運動報告、財産目録、収支決算について、②令和5年度運動計画案、収支予算案について、③令和5年度会費の賦課、徴収方法についての3議案が上程され、慎重審議の結果、満場一致で全議案が可決されました。

新年度についても、酪政連として関係機関へ引き続き積極的な働きかけを行い、厳しい酪農業界が良い方向に向かうよう、心から祈念したいと思います。



東北酪農青年女性会議主催

## 秋季研修会が3年ぶりに開催されました ～劇団四季 リトルマーメイドを鑑賞しました～



東北酪農青年女性会議主催 秋季研修会が、2月15日(水)～16日(木)に、3年ぶりに開催されました。

日々の疲れを癒すレクリエーションの機会と酪農情勢が厳しい中でも、多くの酪友とコミュニケーションを深めることを目的に開催された秋季研修会では、期間限定公演の「劇団四季 リトルマーメイド（仙台公演）」を鑑賞しようと東北各地から、参加者が集まりました。

その後、宿泊先を仙台の奥座敷と呼ばれる「秋保温泉ホテルニュー水戸屋」に移動し、酪農情勢が厳しい中でも、久しぶりに会員同士が再会し、元気をもらえる場となりました。

福島県酪農青年研究連盟より



## 第54回福島県ホルスタインショー

4月22日(土)福島県家畜市場(本宮市)にて、開催致します!

福島県酪農青年研究連盟主催「第54回福島県ホルスタインショー」を4月22日(土)に開催することとなりました。ただ今、出品牛の募集を行っておりますので、より多くの会員より、出品申込いただきますよう、お願いいたします。

さらに、子供たちを対象とした「ジュニアショー」や「ビンゴ大会」も開催しますので、ぜひ、応援も含め、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

なお、新型コロナウイルス感染防止対策を万全に行い開催致しますが、様々な面でご協力いただくことがございますので、重ねてお願い申し上げます。

### 第54回福島県ホルスタインショー

- 期 日 令和5年4月22日(土曜日)  
開会式 10:00～10:15  
第1部審査開始 10:20～  
ジュニアショー 10:50～(予定)
- 場 所 福島県家畜市場 本宮市関下
- 審査長 福島県農業総合センター畜産研究所 所長
- 審査員 オールジャパンプリーダーズサービス株式会社  
営業部長 前田 直樹 氏

第54回福島県ホルスタインショーの部数並びに出品区分について

部 別	月令及び条件	生年月日の範囲
第1部	生後7ヶ月以上～生後12ヶ月未満の未經産牛	R4.5.1～R4.9.30生まれ
第2部	生後12ヶ月以上～生後16ヶ月未満の未經産牛	R4.1.1～R4.4.30生まれ
第3部	生後16ヶ月以上の未經産牛	R3.12.31以前の生まれ
第4部	生後36ヶ月未満の経産牛	R2.5.1以降の生まれ
第5部	生後36ヶ月以上～生後48ヶ月未満の経産牛	R1.5.1～R2.4.30生まれ
第6部	生後48ヶ月以上の経産牛	R1.4.30以前の生まれ

出品区分の基礎となる年齢は、令和5年4月30日をもって算定する。

ただし、資格条件としてホルスタイン種雌牛で登録牛(申請中を含む)であるものとし、生後24ヶ月以上は妊娠確実なものとする。



ジュニアショー 審査風景



第53回福島県ホルスタインショー 集合写真

# 福島県酪農青年研究連盟主催!! 酪農フォーラム・酪農講演会 〔第四回酪青連酪農後継者支援研修会〕開催

福島県酪農青年研究連盟（会長 斎藤 忠義）主催の酪農フォーラム・酪農講演会（第四回酪青連酪農後継者支援研修会）を三月一日（水）郡山市熱海町「磐梯熱海温泉ホテル華の湯」にて開催しました。例年開催されている東北・全国酪農発表大会がフォーラムとして開催されることとなり、当連盟も準じた形で実施しました。

当日は酪青連会員のほか、県関係機関や団体職員等、オンラインで参加した方を含め四十三名の方々が参加致しました。初めに酪農フォーラムでは、過去に経営発表をした当時と現在の経営の変化を発表する場として、浜酪農青年研究会の柚原友加津さんが「六次化で地域の架け橋に」と題して発表しました。震災・原発事故から十二年が立ち、避難指示が解除された地域には、住民帰還が徐々に進み、交流拠点が生み出されています。また、浪江町に復興牧場が誕生する計画や避難を余儀なくされた酪農仲間がふるさとに戻り新牛舎を建設し酪農再開、飼料作物を供給する体制を作るなど、改めて、浜通りに地域農業の復活の兆しが見えるようになりました。



酪農フォーラム  
左から 発表者 柚原友加津さん  
斎藤忠義会長



ゆはらファームのモッツアレラチーズ  
南相馬市内の店舗にて、販売中！



斎藤忠義 会長挨拶

## らっくーと、一緒に!!

福島県牛乳普及協会主催「第2回牛乳標語・川柳コンクール」で、最優秀賞に輝いた作品3点を酪王牛乳1000mlのパック側面に、掲載いたしました。



酪王協同乳業 公式 Twitter 更新中!!  
新商品情報やキャンペーン情報を発信中ですので、ぜひ、フォローお願いします!!



写真提供：  
【公式】酪王協同乳業（酪王カフェオレ）さんより

向けて奮闘しています。

改めて、酪農と地域がより身近になり、酪農仲間と浜通りの酪農復興に向けて取り組んでいきたいと、発表しました。

なお、三月十六日(木)に山形県上市市で開催される東北酪農青年女性会議主催の酪友フォーラムにおいて、柚原 友加津さんが福島県酪農青年研究連盟代表として発表しますので、応援よろしくお願い致します。

続いて、酪農講演会(第四回酪青連酪農後継者支援研修会)講師に、大山乳業農業協同組合酪農指導部指導次長 今吉正登氏をお迎えし、「現場で使える牛群検定成績表の見方」と題し、ご講演頂きました。

今吉先生の講演は、改めて基本に立ち返るとともに、すぐに実践できる内容等も含まれ、開催後のアンケートでも、「牛群検定の成績表を見ると

に今日聞いた内容を活用していきたい」や「洗浄・搾乳手技の見直しをした」など、今後の酪農経営や業務に役立つ大変有意義な講演会となりました。

また、酪農講演会(第四回酪青連酪農後継者支援研修会)は、福島県の次世代酪農家育成・乳量UPチャレンジ事業を活用して、開催しました。引き続き、次年度においても、同事業を活用し、講演会や研修会を開催して参りますので、ご参加頂きますようお願い致します。



酪農講演会 講師  
大山乳業農業協同組合  
酪農指導部 指導次長 今吉 正登 氏



質疑応答の様子

## 酪王協同乳業株式会社より、イベント出展のお知らせ

3月25日(土)・26日(日)の中テレ祭に出展します！

酪王カフェオレシリーズ他、11/19-B1 乳酸菌ヨーグルト等の乳製品販売や、酪王カフェオレグッズ、ガチャガチャ設置などを予定しています。

3月25日(土)にはらっくーも登場しますのでぜひお越しください。

◆中テレ祭について



## さらに！酪青連による酪農理解醸成活動も実施いたします！！

3月25日(土)

- ① 9：30～10：30
- ② 12：30～13：30
- ③ 15：30～16：30 の3回

酪農情勢理解活動の一環として、今回はチーズの無料配布を行います。

生産者の立場から、牛乳・乳製品の消費拡大を呼びかけ、毎日の食卓への牛乳・乳製品の利用方法を提案するなど、継続的な消費拡大を訴える予定です。

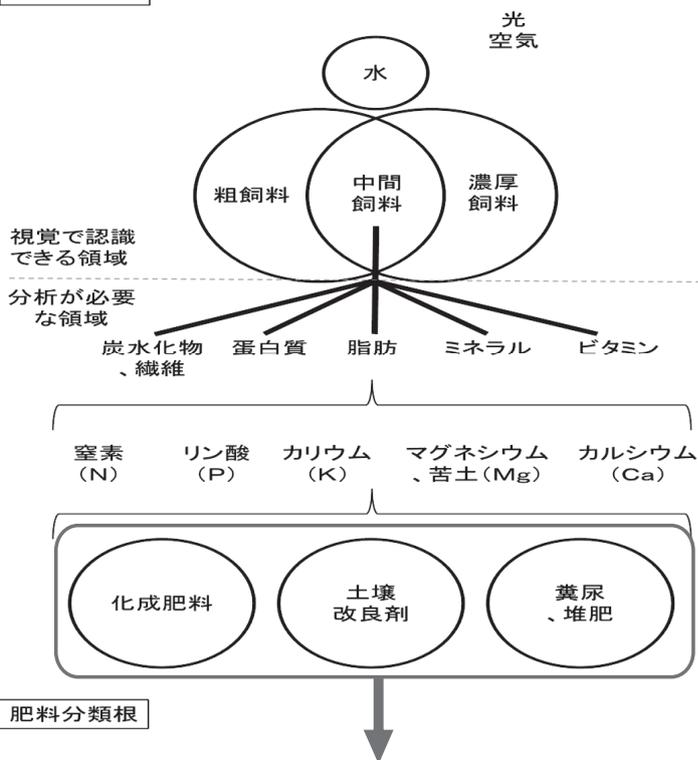
ビッグパレットふくしま でお待ちしています！

## 全酪連の小窓 3月号 ~自給飼料の基本概念~

徐々に暖かくなって春が近づいてきました。この時期の雪には気を付けつつ、そろそろ畑作業の準備を始める人もいるかと思います。自給飼料は土作りから対応することで、その後の生産性に影響します。今回は基本的な肥培管理です。

### ~生産性の向上は土作りから~

飼料分類樹



肥料分類根

●牧草の生育基準温度  
麦類(エン麦、ライ麦、大麦等)  
→4~22℃

オーチャード、ライグラス  
→5~22℃

トウモロコシ  
→10~30℃

\*トウモロコシの播種適期は  
平均気温10℃  
ソメイヨシノの開花時期が基本

- 土台となる土壤環境を整えることで牧草の収量アップ/成分向上  
pHを適正(イネ科作物でpH6.0~6.5)  
牛への生産性向上や周産期病対策へ繋がります。
- 生の糞尿利用の圃場が多いと…  
→作物の硝酸態窒素の増加/作物の炭水化物の低下 = 土壤pHの上昇  
土壤中にカリが集積→草のカリ含量増加/草のCa・Maの低下  
→牛のミネラルバランスの低下  
腐植が少ないと→土壌改良の効果が少ない→雑草が出やすい
- 堆肥化が進むと…  
→団粒構造で土の機能増加、硝酸態窒素の心配も少なくなります。  
雑草種子の死滅と化成作用が高まります。

### ～肥培管理と堆肥発酵の条件～

- ☑天候に左右されますが作付計画を立てる。カレンダーやチェックシート活用
  - 何をいつ頃植え、いつ刈取るか。
  - ・収量の目標・目安を立てる→何トン収穫するか。ロール個数など。
  - ・堆肥の投入量を決める/不足する肥料成分を投入する。

生糞尿



製品堆肥へ

- ☑堆肥化の工程：水分の調整・発酵の促進・腐熟化の促進：3点が重要です。
- ☑水分(通気が良くなる水分)
  - 糞のみ65%以下・戻し堆肥混合68%以下・おが屑混合72%以下
- ☑空気
  - 切り返し、通気または攪拌
- ☑温度
  - 60℃以上数日継続(微生物活性、雑草種子の死滅、水分蒸発促進)

### ～土壌分析～

- ☑適切な施肥設計をするには、土壌分析を実施することが重要です。  
土壌成分は年々変化していきます。余剰な肥料成分や過不足を知ることでコスト低減に繋がります。牧草・デントコーン分析で成分の傾向を掴みながら土壌の状態を掴んでいきましょう。  
\*通常の分析と違い土を乾かしてから分析を実施するため結果が出るまで数か月掛かります。希望の方はご相談下さい。

◇作業内容の見直しにデーリィNaviのご紹介◇

日本版酪農作業標準書【デーリィNavi】は釧路農協連・ホクレン・全酪連の3団体が生産現場の向上に寄与することを目的に提供するものです。  
アカウント登録すれば誰でも自由にご利用可能です。

デーリィNavi ダウンロードHP  
<https://946nokyoren.or.jp/dairynavi/>



給与方法や給餌メニューでご不明点ありましたら、全酪連スタッフや  
県酪職員へご相談ください！

## ZENOAQ コーナー Vol.219



## 消毒は 病気の予防に繋がる

〒963-0196

福島県郡山市安積町笹川字平の上1-1

日本全薬工業(株) 福島営業所

TEL0120-452-464 FAX0120-661-255

新型コロナウイルスの流行により私たちの生活でさらに身近に感じるようになった「消毒」という言葉。

畜産でも消毒は日常的に行われていますが、なぜ消毒を実施しなければならないのか？を理解していただき、皆さんのこれからの作業の参考になればと思います。

### そもそも消毒って何？

農場内だけでなく家庭内でも使われている「消毒」という言葉。皆さんは意味をご存知でしょうか？

まず初めに消毒の定義は以下になります。

#### 「消毒とは」 (小林寛伊編集「改定消毒と滅菌のガイドライン」より引用)

生存する微生物の数を減らすために用いられる処理法で必ずしも微生物をすべて殺滅したり除去するものではない。

- ・ 消毒薬による薬液消毒
- ・ オゾン消毒
- ・ 紫外線消毒
- ・ 煮沸消毒
- ・ 熱水消毒
- ・ 蒸気消毒



分かりやすい表現にすると、

**「病原性微生物（菌、ウイルスなど）を感染症を引き起こさない程度まで殺滅すること」**

になります。

「害の無い程度」ですので、必ずしもすべての菌やウイルスを殺滅させる必要はありません。

また、害の有無に関係なくすべての微生物を殺滅することを滅菌と言います。

他の用語については以下のような意味になります。

用語	定義
消毒	感染症を引き起こさない程度まで病原性微生物を殺滅すること。
殺菌	病原性微生物を殺滅すること。
滅菌	すべての微生物を殺滅すること。
除菌	微生物を除去すること。
抗菌	菌の増殖を抑えること。
洗浄	有機物などの汚れを除去すること。

## 農場内で使用する薬剤は？

牛を様々な病気から守るために消毒作業をされていると思いますが、農場内で使用する薬剤は「動物用医薬品」を使用していただくことをオススメします。

動物用医薬品とは農林水産省で承認された薬剤のことで、先程までの「消毒剤」という言葉、これは動物用医薬品でのみ使うことができる言葉になります。

また、動物用医薬品以外の薬剤については「除菌剤（雑貨品）」と呼ばれています。

消毒剤はすべてではありませんが対象の菌、ウイルスに対して  
**「希釈倍率と作用している時間でどの程度減少するのか？」**  
 がデータに示されています。

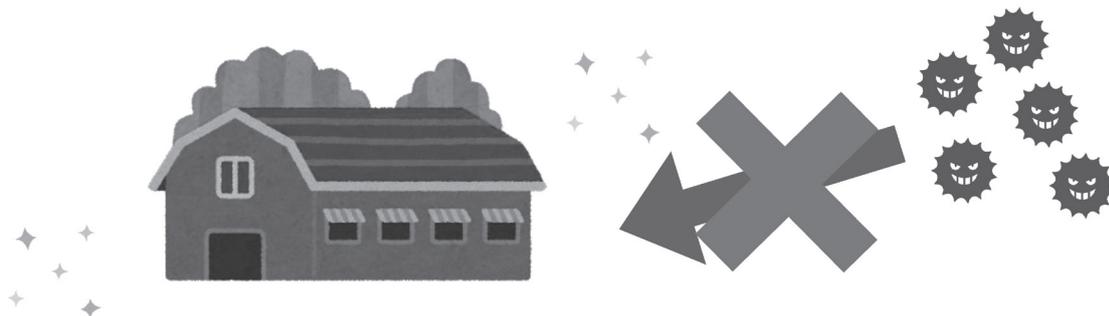
皆さんの農場でお使いになっている消毒剤が十分に効果を発揮することができるよう改めて消毒剤の系統やその特徴などご確認いただければと思います。



## 消毒は重要なのか？

消毒の重要性について、極端な例ですが清掃と消毒をしていないハッチに子牛を導入することをイメージしてみてください。導入前に病気が発生していた場合、いくら敷料を定期的に掃除してキレイにしても病気の原因となる菌やウイルスが死んでいるわけではないので、新しい子牛も病気になってしまい治療費などがかかってしまうかもしれません。

しかし、ハッチの消毒や洗浄、定期的な掃除をすることでクリーンな環境で子牛を迎入れることができるだけでなく、環境要因による病気の再発生を防ぐ可能性が高くなります。



## 「病気が発生してから」では遅いです！

病気が発生してからの消毒になると農場全体で様々な対策を講じる必要があり、さらに費用が掛かってしまいます。

日頃からコツコツと消毒や清掃など環境整備を実施することで病気の予防だけでなく、治療に充てていた時間も別の作業に費やすことができる可能性があります。

また、消毒に限らず病気を発生させないように日頃から農場全体で取り組むことによって常にキレイにしよう、整理整頓しようなど皆さん1人1人の意識も変わるかもしれません。

## 最後に

菌やウイルスは私たちの目には見えないため、しっかり消毒できているかどうか分かりにくく、消毒作業は皆さんの意識1つで効果が変わりやすい作業と言われています。

ですので、消毒を実施する際は

**「見えない汚れや菌、ウイルスを洗浄でしっかり落とすんだ！」**

**「消毒で1つでも多くの菌、ウイルスを殺すんだ！」**

というイメージを持って日々の作業に取り組んでもらえれば幸いです。

令和5年度1月別支払乳価表

今月のプール乳価・補給金・集送乳調整金を含めた支払乳価は、前年より8円37銭1厘上回る単価となりました。

令和5年度の補給金単価については、加工原料乳生産者補給金単価が生乳1キログラム当たり前年度比43銭引き上げの「8円69銭」、集送乳調整金を同6銭引き上げの「2円65銭」、総交付対象数量については、前年度比15万トン減の「330万トン」で決定しました。補給金単価と集送乳調整金単価を合算すると、前年度比49銭上げの「11円34銭」となります。補給金単価の上げ要素としては、配合飼料価格の高騰等、下げ要素としては搾乳牛1頭当たりの乳量の増加、乳牛償却費の減少があり、集送乳調整金の上げ要素としては、集送乳委託費と単独集送乳経費の増加、下げ要素としては加工原料乳の集乳乳量の増加が挙げられます。総交付対象数量の算定に必要な「推定乳製品向け生乳消費量」は、国民一人当たりの乳製品の消費量について過去10年間のトレンドから算出されています。

- 東北全体プール乳代金 4,600,366千円 単価117.427円
- 内 福島県分プール乳代金① 514,989千円 単価117.427円
- プール対象外乳代金② 73,098千円
- (学乳向け・買取向け乳代金)
- 合計乳代金①+② 588,086千円 単価121.130円

項目	令和5年1月	前年同月	増 減	前々年同月
プール乳価	117円488	109円161	8円327	109円889
補給金単価	1円125	1円091	0円034	0円935
集送乳調整金単価	0円352	0円342	0円010	0円285
合 計	118円965	110円594	8円371	111円109

(注) 上記合計は、脂肪率3.5%・無脂固形率8.3%の補給金込みの乳価。

(東北全体1月)

用途別	販売乳量 (トン)	日 量 (トン)	前年比 (%)	シェア (%)	前年度 シェア
飲用向け	27,087	874.0	95.9	65.9	67.1
加工向け	4,915	159.0	100.1	11.9	11.7
学校給食向け	1,955	63.0	105.6	4.8	4.4
醗酵乳向け	6,550	211.0	101.7	15.9	15.3
生クリーム向け	481	16.0	92.3	1.2	1.2
チーズ向け	144	5.0	103.4	0.4	0.3
合 計	41,131	1,328.0	97.7	100.0	100.0

備考 1) 買取乳量を除く

団体別受託乳量の状況

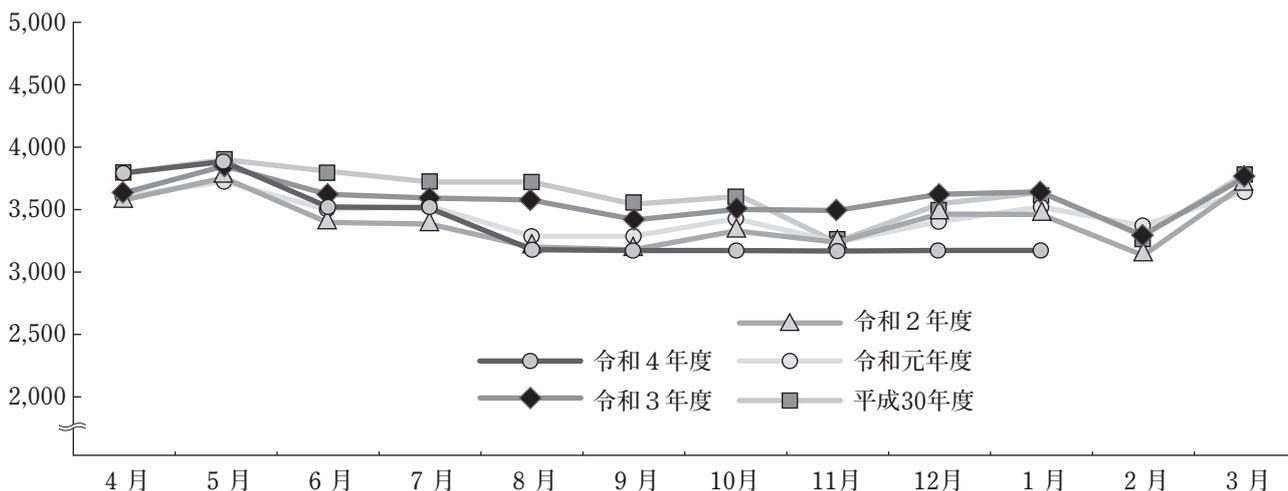
北海道：94.3%、都府県：96.9%

団体名	1 月 分		
	受託乳量 (トン)	日 量 (トン)	前年比 (%)
県 酪 協	3,355	108.2	91.8
全農福島県本部	1,500	48.4	92.5
合 計	4,855	156.6	92.0
東北生乳販連	41,131	1,326.8	97.7
全 国	587,241	18,943.3	95.4

月別受託乳量 県酪協 (トン)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30年度	3,865	3,927	3,768	3,758	3,757	3,565	3,617	3,385	3,572	3,687	3,369	3,818	44,091
令和元年度	3,661	3,736	3,526	3,528	3,380	3,391	3,495	3,349	3,477	3,589	3,442	3,735	42,310
令和2年度	3,642	3,739	3,495	3,482	3,363	3,310	3,458	3,341	3,505	3,549	3,268	3,723	41,874
令和3年度	3,693	3,859	3,629	3,599	3,564	3,486	3,578	3,515	3,619	3,652	3,353	3,760	43,307
令和4年度	3,691	3,733	3,494	3,434	3,305	3,255	3,354	3,210	3,324	3,355			
前年比%	99.9	96.7	96.3	95.4	92.7	93.4	93.7	91.3	91.9	91.8			

単位・トン



### 令和5年度受託乳量の状況

令和5年1月の受託乳量は、県全体で前年比92.0%の実績でありました。  
 団体別の受託乳量は、本組合が3,355ト、前年比91.8%（対前年同298ト減）、全農県本部は1,500トの対前年比92.5%（対前年同月122ト減）の実績でありました。

東北生乳販連の受託販売実績については、前年比97.7%となりました。  
 なお、全国の受託実績は対前年比95.4%となりました。

### 令和5年度用途別販売乳量の状況（東北全体）

東北全体の用途向け販売数量は、前年比で加工向けが100.1%、学校給食向けが105.6%、発酵乳向けが101.7%、チーズ向けが103.4%と上回り、飲用向けが95.9%、生クリーム向けが92.3%と下回って推移しました。引き続き、福島県産牛乳・乳製品の消費拡大にご協力をお

願い致します。

なお、今月の酪王乳業の生乳使用量は日量平均44.1ト（前年比96.8%）で、本組合生産量の40.8%、県全体生産量の28.2%の処理量となりました。

### 年次別・月別支払乳価一覧（補給金・集送乳調整金を含む）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和4年度	109.973	110.973	112.420	111.282	110.437	112.872	112.484	120.128	117.186	118.965			
令和3年度	110.502	111.609	113.060	111.724	110.197	112.507	112.537	112.319	109.640	110.594	110.503	109.010	111.184
令和2年度	108.959	110.268	113.694	113.625	112.257	114.269	113.489	112.845	111.265	111.109	112.190	109.876	111.986
令和元年度	107.825	109.442	110.235	109.707	109.001	110.834	113.758	112.804	110.935	111.470	112.026	108.238	110.523
平成30年度	105.316	106.566	107.245	106.734	104.684	108.041	107.673	107.183	104.902	105.545	106.664	104.358	106.242

### 乳牛頭数調査集計表（公共機関を含む）

令和5年1月31日現在

地区	酪農家戸数			乳牛頭数									
	戸数	前年度戸数	前年比	育成	初妊	経産牛				合計	前年度頭数	前年比	1戸当り頭数
						乾乳妊娠	妊娠搾乳	空胎搾乳	小計				
県北	29	33	87.9	395	207	132	372	788	1,292	1,894	2,114	89.6	65.3
県中	54	62	87.1	290	129	173	352	765	1,290	1,709	1,818	94.0	31.6
浜	7	7	100.0	96	38	20	68	107	195	329	339	97.1	47.0
県南	36	40	90.0	601	242	197	583	1,055	1,835	2,678	2,908	92.1	74.4
合計	126	142	88.7	1,382	616	522	1,375	2,715	4,612	6,610	7,179	92.1	52.5

地区	月別分娩予定頭数							販売乳量					
	令和5年2月	令和5年3月	令和5年4月	令和5年5月	令和5年6月	令和5年7月	令和5年8月	生乳出荷戸数	地域別販売乳量		1日1頭当り乳量		
	1日当り	1日1戸当り	搾乳牛	経産牛									
県北	85	108	93	69	89	134	133	25	32,445	1,298	28.0	25.1	
県中	95	96	66	71	64	88	174	54	27,226	504	24.4	21.1	
浜	15	11	10	18	18	25	29	7	5,120	731	29.3	26.3	
県南	132	133	132	116	119	155	235	34	43,503	1,280	26.6	23.7	
合計	327	348	301	274	290	402	571	120	108,294	902	26.5	23.5	

## 第328回 県酪協乳牛市場成績

令和5年 2月14日開催

購買者数 23名 (うち県外12名)

畜種	雌雄	成立数 (成立率)	最高価格 最低価格	平均価格 (前回比)	平均体重 (前回比)	平均単価 (前回比)
ET和牛	メス	7 (100)	603,000 320,000	403,429 (119)	97 (97)	4,159 (123)
	雄	15 (100)	501,000 342,000	438,467 (117)	103 (101)	4,243 (115)
乳牛	メス	1 (100)	1,000 1,000	1,000 —	95 —	11 —
	雄	51 (98)	69,000 1,000	26,235 (140)	73 (96)	361 (146)
交雑牛	メス	75 (100)	250,000 1,000	83,813 (102)	77 (103)	1,090 (99)
	雄	61 (100)	204,000 1,000	106,623 (106)	81 (104)	1,324 (103)

価格：円（落札価格） 率・比：％ 体重：kg

初生牛・妊娠牛・搾乳用雌子牛の価格帯別分布表（0は0.1～0.9万円、1は1.0～1.9万円、以下同様。尚、落札価格です。）

畜種	雌雄	価格帯(万円)																								
		<32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	～	60	61	62	63	64
ET和牛	メス	1		1		2				1	1										1					
	雄			1			1			2	2		1	2	2	2	1		1							
乳牛		0<	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	メス	1																								
	雄	16	10	6	2	2	11	4																		
交雑牛		<0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	～	23	24	25
	メス	1	1	1	2	5	8	12	9	5	11	8	3	2	3				2					1		1
	雄	2						3	3	11	9	10	5	8		2	2		1	3	1	1				

## 組 合 の 動 き 2 月

2月1日	県酪農協研修報告会	2月15日	東北酪青女秋季研修会
2月2日	やまびこ会ひまわりコンクール	～16日	
2月7日	日本酪農政治連盟福島県支部連合会監査	2月16日	日本酪農政治連盟福島県支部連合会総会
2月7日	日本酪農政治連盟福島県支部連合会常任委員会	2月16日	臨床研究会
2月8日	東北生乳販連事業推進委員会	2月20日	東北生乳販連理事会
2月9日	全酪連監事・役職員研修（大阪）	2月21日	木目澤次男・久實子夫妻祝賀会
～10日		2月24日	県農業会議常設審議委員会・農政推進協議会総会
2月10日	日本ホルスタイン登録協会社員会議	2月28日	第10回理事会
2月10日	東北生乳販連生乳受託販売委員会	2月28日	監事と代表理事等との定期的会合
2月14日	乳牛せり市場		

## 理 事 会

第10回 令和5年2月28日

### 議 案

第1号議案 組合員の出資口数減少について

### 報告事項

- (1) 復興牧場定款について
- (2) 令和4年度第3四半期収支状況報告について
- (3) 子会社の令和4年度第3四半期事業報告について
- (4) 令和4年度第3四半期経営検討農家の現状について
- (5) 今後の日程について
- (6) 総会までの日程について

## 令和5年度 異動等辞令交付

(令和5年2月28日付)

氏 名	事 由	所 属
曳 地 和 彦	依 願 退 職	復興牧場設立準備室

福島県牛乳普及協会

令和3年度

# 牛乳・乳製品利用料理コンクール 全国各地の受賞レシピをご紹介します



## ミルクとおからのすこやかベジケーキ

一般  
池原 綾子さんの作品



### ●●● 材 料 ●●●

(材料：4人分)

A	
・酢	60cc
B	
・おから	100g
・ベーキングパウダー	小さじ2
C	
・ナス	60g
・おくら	2本
・トマト	60g
・コーン缶	50g
・牛乳	600ml
・粉チーズ	大きじ4
・卵	2個
・バター	85g
・プロセスチーズ	100g
・塩吹昆布	8g

### ●作り方

- 前日に牛乳を鍋に入れ、加熱して80℃位になったら(A)の酢を加え、カッテージチーズを作る。この時にホエーは大きじ6、カッテージチーズは100gを各々器に入れる。残りはドリンクやサラダとしていただきます。
- 当日(C)のナス・トマト。おくらは刻みプロセスチーズは角切りにする。刻んだナスは水に浸し、炒める直前にざるにあけ、ナスをぎゅっと絞り、水気を除く。軽量した塩吹昆布は、器に入れた状態で料理バサミを使い、粗く切る。
- フライパンに②のナスとコーン缶を分量内のバター大きじ1でさっと炒める。火を止めたら、そのままフライパンの余熱を使い、残りのバターを加えてバターが溶けた状態にしておく。

- ボウル(B)と①のホエー・カッテージチーズをよく混ぜ、③の炒めたナス・コーン缶・溶けたバターを加え、トマト・おくら・卵・プロセスチーズ粉チーズ・塩吹昆布と混ぜていく。
- ラップを敷いたパウンド型に④を流し入れ、レンジで10分位チンをして、出来上がり。あつあつ状態もおいしいですが、出来上がったなら網の上ののせ、あら熱がとれたらスライスして、やや冷めた状態でいただくのもおすすめ!

### ポイント

ナスの紫色の色どりを良く仕上げるために、ナスを炒める時は、きつね色になる前に火を止めます。カッテージチーズはキッチンペーパーで包み、半日ざるののせて水気を切る方が、チーズが細くなり、絞りやすくなります。

## 『特派員報告』大募集

毎月、県内各地の情報を皆さまから提供いただき、共有していきたいと思っております。ちょっとした出来事、地域にあるお店の紹介などなど情報提供をお願いします。

連絡先

E-mail : hiro-watanabe@fukuraku.or.jp

F A X : 0243-33-1103



### 『ほっとMilk』投稿募集について

- テーマは自由(ほっと(^o^))する話題がいいですね)
  - ◎文章だけでも結構です。
  - ◎写真があると最高です。
- 受付(常時受け付けしています)
  - メール・FAX・事務所経由・直接持参、何でもOKです。

E-mail : hiro-watanabe@fukuraku.or.jp

F A X : 0243-33-1103

発行者 福島県酪農業協同組合 発行責任者 常務理事 佐藤 幸光

〒969-1103 福島県本宮市仁井田字一里壇17番地 TEL 0243-33-1101 FAX 0243-33-1103 URL <http://www.milk.fukushima.jp>